

六 郷

○ひとりだちのできる たくましい生徒の育成
○人権感覚豊かな 思いやりのある生徒の育成

学校便り 9月特別号
令和2年9月23日
松阪市立嬉野中学校
校長 山下隆久

コロナ禍の学校祭を考える

地域のみなさまへ

今年度は、嬉野中「学校祭」のご参観を
ご遠慮いただくことにさせていただきます。
ご理解の程、よろしくお願ひいたします。



嬉野中学校の学校祭は、人権作文の発表や作品展示、3年生の演劇発表や文化部の発表など、発表する生徒や鑑賞する生徒それぞれの心が一つになり、感動的で思い出に残る素晴らしい学校祭を創り上げることが伝統になっています。また学校祭とは別に合唱コンクールの日を設けていました。この合唱コンクールも嬉野中伝統の行事で、これが中学生生活最後！という気迫あふれる3年生の先輩が創り出す合唱は、後輩である1・2年生にとって目標であり、心を揺さぶるものです。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で休校となったり、様々な学校行事が中止や規模縮小になっています。6月に開催を予定していた体育祭も、全校そろっての開催は中止としました。その分、学年生徒リーダーが中心となり、学年別体育祭を行いました。

見出しの学校祭も、別日程で開催していた合唱コンクールを合わせて開催するなど規模を縮小して行うことを考えました。また入場する人数にも制限をして密になることを防ぐことを考えました。「何もかもは出来なくても、何かきつと出来ることはある。」と信念を持って、「どうすれば出来るか！」を9月25日に選ばれる後期生徒会役員のメンバーを中心に考えていきたいと思ひます。



**来年度は是非、嬉野中のパワーを
見ていただけることを望んでいひます。**

※ 保護者様へのご案内は、後日改めてさせていただきます。

9月25日 後期生徒会役員選挙

高校入試の面接で「あなたは生徒会役員をされていたのですね。では生徒会で学んだことは何ですか。」という質問があったそうです。その質問に対して「みんなの前で、自分の考えや生徒会役員のみんで考えた意見を、みんなに伝える力が一つです。二つ目は、先生たちの考えを理解したり生徒一人ひとりの考えや思いを感じとったりする力です。最後に何よりも身についたと思うのは、私を支えてくれた友人や生徒会の仲間や先生方、そして親への感謝の気持ちです。」と質問された生徒は答えたそうです。嬉野中学校でも、卒業された役員の先輩方が退任のあいさつで、感謝の気持ちを伝えることも多かったです。



今回の選挙では11人の立候補がありました。生徒会役員が企画・運営する仕事には、学校祭のような目に見えやすい活動の他に、日常の活動や地域と連携する活動もあります。自分のことだけでなく周りの人たちのことを考えて行動しなければならないことが増える生徒会役員に、これだけ多くの立候補があることは誇らしいことです。立候補ありがとう！

自分たちの学校生活を自分たちの力で発展向上させていく自治活動が生徒会活動です。自覚と責任を持って立会演説会に臨む人たちの考えや思いを、しっかり受けとめましょう。そして自覚と責任を持って投票して、決まった役員の人たちを中心にして509人の生徒会活動を進めていきましょう。

生徒会生活委員会「あいさつ運動」



嬉野中学校の朝は活気があります。6月の「六郷」でお伝えしたように、嬉野中の朝には、朝練や掃除をするクラブ員の姿、自転車や徒歩で通学してくる姿、教室の窓を開けて自習する姿などあります。自習する人は少し増えました。期末テスト期間は多かったです。

朝、校舎を歩いていると「おはようございます！」という爽やかなあいさつを受けます。元気が出てきます。この爽やかなあいさつをリードしてくれているのが生活委員会です。

写真は9月16日朝の様子です。生活委員会ありがとう！

嬉野中学校は、「あいさつ」「笑顔」で地域貢献日本一の学校に近づいています。